

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) マルチモダリティ画像 を用いた包括的画像処 理による肝臓病変の鑑 別《筆頭論文》	共著	2008年10月	医用画像情報学 会雑誌	論文全体の概要：診断する医師への負担軽減を目的に、画像診断支援の一手法として、多種類の3次元画像を統合して異常部位を選択的に強調・検出することができる包括的画像処理法を開発した。（当該論文のページ数：9頁 p 61-p 69）（当該論文の著者名：井上聖，大倉保彦，川下郁生，伊東克能，松永尚文，真田泰三，秋山實利，石田隆行）担当部分の概要：共同研究につき本人担当部分抽出不可能（共著）
2 (学術論文) 包括的画像処理におけ る相互情報量を用いた 画像レジストレーション の有用性 《筆頭論文》	共著	2009年3月	医療工学雑誌	論文全体の概要：相互情報量を類似度としたレジストレーションをモダリティの違いや造影の有無に関係なく包括的画像処理を行える技術を開発した。（当該論文のページ数：pp. 17-23 2009）（当該論文の著者名：井上聖，大倉保彦，川下郁生，秋山實利，石田隆行）担当部分の概要：共同研究につき本人担当部分抽出不可能（共著）
3 (学術論文) マルチモダリティ画像 を用いた包括的画像処 理法による肝臓病変検 出法の開発- プロファ イルを用いた画素単位 相互相関法- 《筆頭論文》	共著	2009年4月	日本放射線技術 学会雑誌	論文全体の概要：多種類の3次元画像を統合して異常部位を選択的に強調・検出することができるプロファイルを用いた画素単位相互相関法による包括的画像処理法を開発した。（当該論文のページ数：pp. 438-450 2009）（当該論文の著者名：井上聖，大倉保彦，川下郁生，伊東克能，松永尚文，真田泰三，秋山實利，石田隆行）担当部分の概要：共同研究につき本人担当部分抽出不可能（共著）
4 (学術論文) Gd-EOB-DTPA を用い た肝臓 MRI 検査におけ る肝細胞造影相での至 適フリップ角の検討	共著	2010年9月	日本放射線技術 学会雑誌	論文全体の概要：ファントム画像による物理評価と臨床画像による視覚評価を行い、Gd-EOB-DTPAを用いたときの肝細胞造影相におけるFAの至適な角度を算出した。（当該論文のページ数：6頁 pp. 1474-1479）（当該論文の著者名：近沢 苑，井上聖，田辺昌寛，山内秀一，中村敬子，森田慎吾，上原拓也，松永尚文）担当部分の概要：共同研究につき本人担当部分抽出不可能（共著）
5 (学術論文) 包括的画像処理による 放射線科医のための肝 疾患診断支援技術 《筆頭論文》		2011年3月	医療工学雑誌	論文全体の概要：我々が開発した包括的画像処理技術を放射線科医が使用することにより読影時間と精度を向上させることができた。（当該論文の著者名：井上聖，秋山實利，石田隆行）（当該論文のページ数：pp. 15-22 2011）担当部分の概要：共同研究につき本人担当部分抽出不可能（共著）